

もう一度2016年を
思い出そう

平成10年「ゆとりの中で生きる力を育む」

What is Society 5.0



新しい学習指導要領では どのように言っているでしょう

今回の改訂では、学習指導要領に前文がつけました。

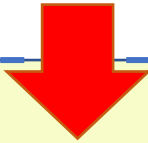
法令に前文が加えられるって、前代未聞のことですよ。
今回の学習指導要領には、これが書き加えられたのです。
改訂の主旨を特に強調するためのものです。

学習指導要領の**前文**と**総則**に書かれていることを
しっかり読み込むと、これからの世界に通用する
「人間」や、そこに向かう学びのあり方が見えてきます。
皆さんが考えたこと、重要と思ったことが、
どのように書かれているのでしょうか。

10年前の学習指導要領

個人の成長

児童の人間として調和のとれた
育成を目指し・・・（個性を生かす）



個人の成長

新しい学習指導要領（前文）

社会人としての役割

自分のよさや可能性を認識する
とともに
豊かな人生を切り拓き、

あらゆる他者を価値のある存在として
尊重し、多様な人々と協議しながら
様々な社会的変化を乗り越え、
持続可能な社会の創り手となる

ことができるようにすることが求められる

この考え方は、ESDそのものです

学習指導要領では具体的には

知識や技能だけでなく

ポーッと生きてんじゃねえよ!

(厳しい時代をたくましく)

「生きる力」を育む

1、課題解決に必要な

- ・思考力
- ・判断力
- ・表現力



© NHK

・主体的に学習に取り組む態度

・多様な人々との協働

コミュニケーション能力

2、豊かな心や創造性

3、健康で安全な生活と

豊かなスポーツライフ (17ページ)

教育課程の編成において

総合的な学習の時間の目標と関連を図り

- ① 教科横断的に学ぶ (19ページの2)
(カリキュラム・マネジメント)
-

教育課程の実施において

- ② 主体的・対話的で深い学び
に向けた授業改善 (22ページ1の(1)・・・つまり)
《探究的・問題解決的な学び》のこと

第6学年 「未来にはばたけ」学習カレンダー

江東区立八名川小学校

教科領域	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語										
算数										
理科										
社会										
総合										
英語										
特活										
道徳										
音楽										
図工										
体育										
家庭										

カリキュラム・マネジメント

従来の教科分断的な
発想から、教科横断
的な発想への飛躍が
必要！

① SDGsの視点
から未来について、
自分の考えをもつ

未来がよりよ
くあるために

⑤ これからの
日本について
考える

② 戦争中
の生活や
人々の願い
を知る

長く続いた戦争
と人々の暮らし

新しい日本、
平和な日本へ

⑧ 世界の現状
を見つめ自分の
生き方・学び方
について考える

③ 将来の夢に
ついて考え、
自分を見つめる

未来に
はばたけ！

世界が100人
の村だったら

⑥ 自分がなりたい
職業を選び、実現へ
の道筋を調べる

八名川まつり

卒業式

⑦ 調べたこと
を地域・保護者
に発表する

④ 将来の自分
の姿を想像し、
立体作品を作る

12年後の私

環境の教育

多文化理解

人権・命の教
育

学習スキル

◎ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた **授業改善** を通して、生きる力を育むことを目指す。

- ・ **基礎的・基本的な知識・技能の習得**
- ・ **思考力・判断力・表現力**等の育成
- ・ **主体的学習態度や多様な人々との協働**
- ・ 豊かな心や創造性の涵養
- ・ 学びに向かう力、人間性等

と**活用**

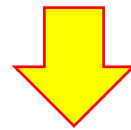
学習規律

ベーシックドリル

などが、どうしたら自然に身についてくるの。

詰め込み教育をすると主体性も、豊かな心も育ちにくい。
別々にやろうとしても時間ばかりかかる！

だから



E S Dカレンダーを工夫して、
その中で学習をつなげカリ
キュラム・マネジメントする
ことで、**活用能力**を高める。

問題解決的な学習過程を重視
して、その中に、対話的な
協働場面を位置づけることで
問題解決能力を高める。

主体的・対話的な学習過程

【学びに火をつける】



【調べる】



【まとめる・実行する】



【伝え合う】

単元全体に関わる大きな問題意識を共有することが重要。目標に向けて、教師の仕掛ける能力が成否を分ける。下に示した「火をつける3つのステップ」を意識して指導する。

「計画する→調べる」というステップ。予想を立て、何時間で、どんな方法で、だれに聞いて、どこに行き、どうやって調べるか、どのようにまとめ、それを誰に伝えるかなど

ポートフォリオ等を活用しながら、効率よくまとめる。発表練習では、助言カード等を活用する。友達と練習の交流をさせることで、説得力のある結論が導き出せる。

〇〇報告会、八名川まつり（ESD学習まつり）など、子どもたちが、学年や学校・地域を越えて発表したり、行動したりする場を設定する。自ら考えたことを進んで実行させる。

1. 出会う

- ①体験活動や資料をもとに基本的な事実と出会い、共有する
- ②多様な気づきや感想を共有する

2. 気付く

- ①教師が提示したり、子どもが調べたりして合った矛盾する事実や意表をつく話や資料等から疑問を感じ、書き出す

3. 問題意識をもつ

- ①グループや学級全体で疑問を出し合い、分類・整理して学習問題化する
- ②問題について予想をする

先生に言われて調べ、
まとめて、発表しても
自分の学びじゃない！
「学びに火をつける」
ことが重要。

『こどもの学びに火をつける』際の3つのステップ

①

<問題に気づかせる>

- 1) 体験活動や提示資料をもとに**基本的な事実と出会う**
- 2) 体験したり資料を見たりしたことから、多様な気づきや感想などをもち、それを**共有する**

親しみ・憧れ・共感

②

<火をつける>

- 3) 教師が提示したり、子どもが調べたりして出合った矛盾する事実や意表をつく話や資料等から疑問を感じ、書き出す

事実との
出会わせ方が重要

それらをひっくり返す

③

<テーマを決める>

- 4) グループや学級全体で疑問を出し合い、分類・整理してまとめ、学習問題をつくる
- 5) 問題について、自分なりの**予想**をする

疑問から学習問題へ

ESDカレンダー・・・教科横断的な学習指導のイメージマップ

第6学年 ESDカレンダー			28年度版			江東区立八名川小学校						
教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語				ようこそ私たちの町			未来がよりよくあるために			自然に学ぶ暮らし		
算数							資料の調べ方					
理科							大地のつくりと変化			電気の性質とはたらき		
社会					江戸の文化をつくりあげた人々		私たちの願いを実現する政治	長く続いた戦争と人々の暮らし		日本とつながりの深い国々		世界の未来と日本の役割
総合					江戸・深川のまちを語ろう			未来にはばたけ！		世界が100人の村だったら		
英語												
特活										八名川まつり		
道徳					古きよき心			同じ地球の子どもたち		ホワイトハウスにできた柔道場		世界が100人の村だったら
音楽												
図工										12年後の私		
体育					病原体と体の抵抗力			喫煙・飲酒・薬物				
家庭							日常の食事と調理の基礎					これからの自分
			環境の教育			国際理解や協力			人権・命の教育			学習スキル

ESDカレンダーと、この具体的な指導計画がセットになっていることが重要です。

江東区立八名川小学校

総合的な学習の時間 第6学年 指導計画

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

単元名「江戸・深川のまちを語ろう」(35時間)

【ねらい】

自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、地域に対する誇りや愛着心を育てる。

【学びに火をつける】

○視聴覚教材や手島校長先生の話きっかけに、自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、「自分たちも様々な切り口からこの町の歴史や文化を語れるようになろう」という課題を明確にする。

【調べる】

○「長屋の生活」「江戸の文化」「船宿」「江戸の大火事」等の自分の興味をもったテーマを調べ・発表の準備をする。

【まとめる】

○テーマごとに(同じテーマの児童はグループになり)、プレゼンテーションを考えて作り、友達に発表し課題や工夫についてアドバイスをもらい、練り直す。

【つたえ合う】

○調べたことを、深川江戸資料館で、5年生や家族・地域の方、深川小学校の児童にポスターセッションで等で発表する。

【地域人材・関係機関】

- 深川江戸資料館(見学と事前指導の来校及び、発表会場の提供)
- 八名川地域、森下地域の人材、ESD支援センター

単元名「はばたけ未来へ！」(35時間)

【ねらい】

将来自分たちが生きる社会は、時代とともに変化していくことに気づき、そのような社会で生き抜くためにどのような力を身に付ける必要があるか、様々な情報から自分にあったものを考え続けることで、困難に立ち向かう態度を育てる。

学びに火をつける

【学びに火をつける】

○保護者アンケートから未来の職業の変化を知る。ゲストティーチャーの話から将来の夢を見つめ、実現するために何をどのようにするのか考えさせる。

【調べる】

○多種の職業の方から各職業について説明してもらい、自分の夢と照らし合わせ、自分はどのような力を身に付ける必要があるか考える。

【まとめる】

○自分が必要と考える力を身に付ける取り組みを一定期間行い、友達と意見交換を行うことで成果や課題をまとめる。

【つたえ合う】

○調べたことを、八名川まつりでポスターセッションで等で発表する。

【地域人材・関係機関】

- 保護者(アンケート)
- 多種の職業の方々(保護者・知人等)

地域人材・外部機関

問題解決的な学習過程

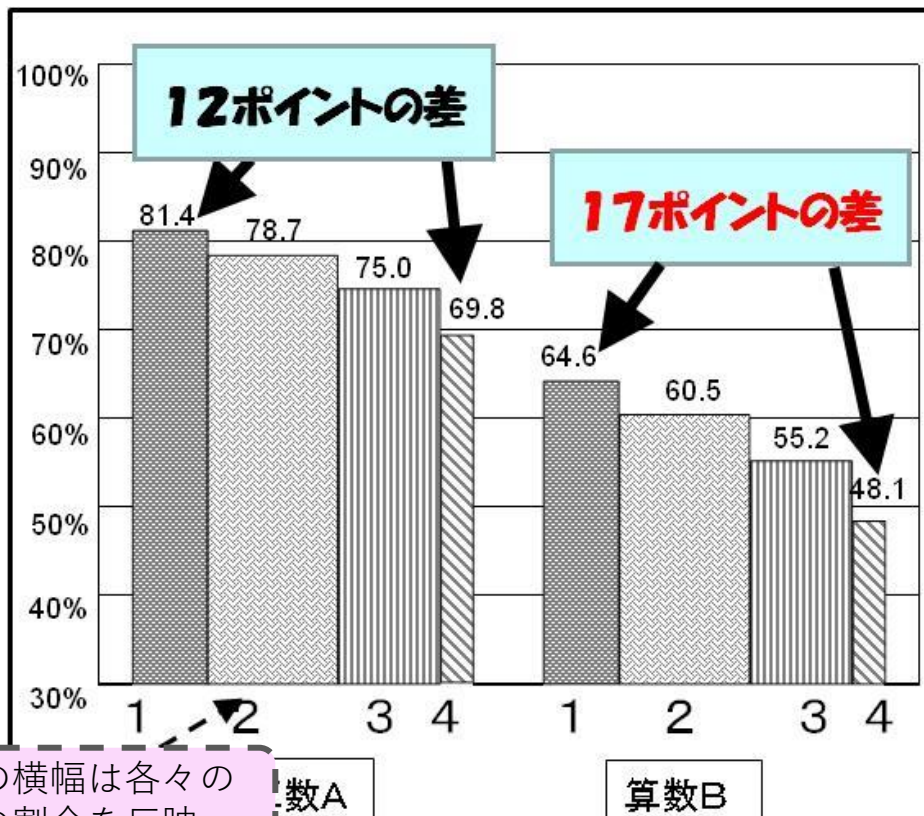
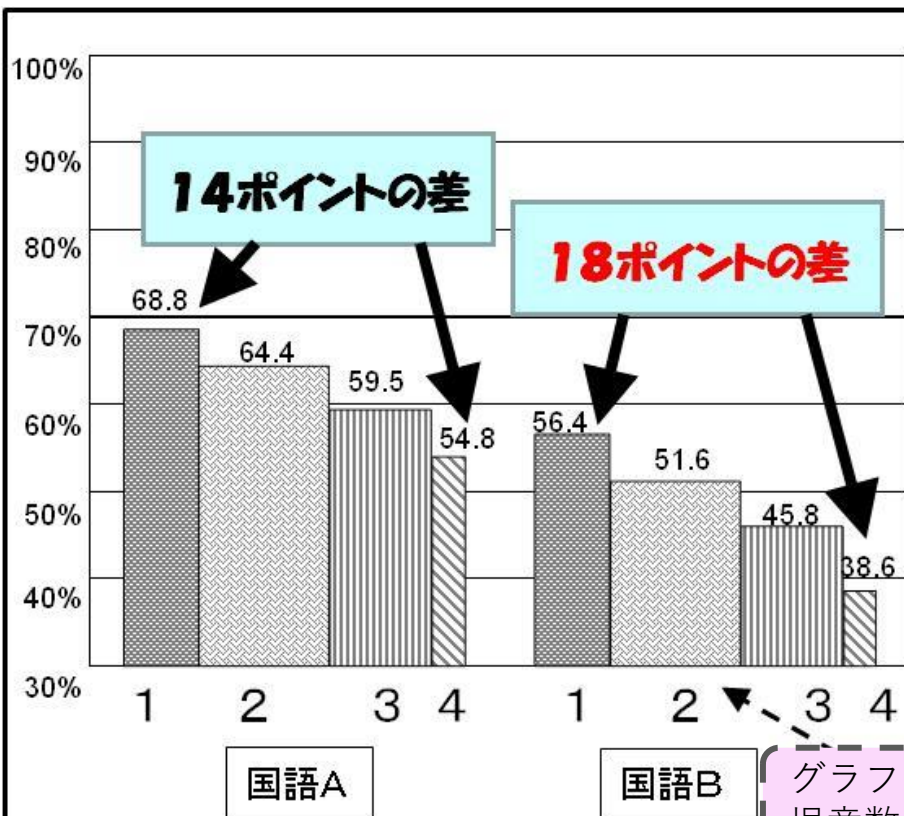
総合的な学習の時間と学力との相関

H25全国学力・学習状況調査(小学校6年生)

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の回答と平均正答率のクロス集計

*「1 当てはまる」「2 どちらかといえば、当てはまる」

「3 どちらかといえば、当てはまらない」「4 当てはまらない」



グラフの横幅は各々の児童数の割合を反映

学力以外での児童の変化

- ① 学習全般に対する積極性が高まる
- ② 子ども同士の間関係が穏やかになる
- ③ 誰の意見に対しても尊重し、聞き合えるようになる
- ④ 大人に対する信頼感が高まる
- ⑤ どの学年もプレゼン能力が飛躍的に高まる
- ⑥ 全校集会など、児童の活動が主体的になり、質も向上
- ⑦ 高学年が頼りになる

令和元年の八名川まつり ESD パワーアップ交流会は、
10月19日（土）。児童の発表内容・研究交流の時程等は、
江東区立八名川小学校ホームページからご確認ください。

第7回八名川まつり発表内容

15 陸の豊かさも
守ろう



1年 秋のおもちやの店

ドングリやまつぼっくりで楽しもう



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



2年 うごくおもちゃ大しゅう合

ゴムで、風で、坂道で・・・いっしょにあそぼ！



11 住み続けられる
まちづくりを



3年 八名川タイムトラベル

町の史跡や道具を調べて語ります。



3 すべての人に
健康と福祉を



4年 やさしさパワーアップ大作戦

妊婦さん・外国人・お年寄り・・・



11 住み続けられる
まちづくりを



5年 今やろう！

地震から身を守る備えを！

保護者や地域の方と備えを語る



8 働きがいも
経済成長も



6年 未来にはばたけ！

～小学校卒業研究～

キャリアの視点から将来設計と学び方を語る



八名川まつりのような

「全校児童（生徒）による E S D 学習発表プレゼンまつり」 をすることの価値

- ① 一人一人の子どもが、「大人から子どもまで様々な世代の方に向かって、自分の学びを、何回も語る。」という経験ができる。
人に伝える中で、自分の学びへの深い理解が進む。
- ② 多くの人に認められ、自信と誇りと課題意識が育つ。
- ③ テーマごとにグループを作って学び・まとめ・発表することで、開かれた学年ができる。
- ④ あこがれをもって上級生の取り組みを見る中で、毎年、無意識のうちに、前年の取り組みを越えようと工夫され、全校の学びの質が、自動的に高まる。

これを教育課程に位置づけるのもカリキュラムマネジメントです

◆子どもたちが生きていく時代を踏まえた社会的な課題

何を学ぶか

目標 4 質の高い教育を全てのの人に

E S D

主体的・問題解決的な学び（学びに火をつける指導）
教科横断的・統合的な学び（ESDカレンダーの活用）
対話的・協働的な学びの重視（対話型授業の設定）

環 境

目標 2 飢餓をゼロにする

2年 食べ物から見える世界、
5年 これからの食料生産とわたしたち、

目標 7 エネルギーをみんなにクリーンに

2年 うごくこく、わたしのおもちゃ
5年 カーボンマイナス子どもアクション

目標 11 安全で災害に強いまちづくり

2年 地震安全マップをつくらう
5年 今やろう、地震への備え

目標 13 気候変動対策

5年 カーボンマイナス子どもアクション、
百年後のふるさと、
地球温暖化・森が消えていく

目標 14 海の豊かさ

5年 日本の水産物、岩井臨海学校
（遠泳・地引を体験・プランクトン）

目標 6 安全な上下水の保障

4年 水を守れアースレンジャー

目標 9 産業と技術革新の基盤づくり

5年 エコプロダクツ展参加
5年 環境の視点で工業を見直そう

目標 12 持続可能な生産と消費

2年 こみと私たちのくらし
5年 これからの食料生産とわたしたち

目標 15 陸の豊かさ

1年 生き物となかよし、
楽しさいっぱい秋いっぱい、
2年 ザリガニの赤ちゃん
おいしく育て、わたしの野菜
2年 やぎ救出大作戦
全学年 俳句づくり

人 権

目標 1 貧困をなくす

2年 食べ物から見える世界、
5年 これからの食料生産とわたしたち、

目標 3 健康と福祉

4年 やさしさパワーアップ大作戦(早いバスケット、介護体験等)、
大々になってきた私(2分の1・成人式)

目標 5 ジェンダー平等の実現

2年 あしたへジャンプ
4年 心の信号機、手と心で読む、

目標 8 経済成長と人間らしい仕事

6年 未来へ羽ばたけ(キャリア教育の視点から)

目標 16 平和で公正な社会と行政

6年 私たちの願いを実現する政治、
世界を知り私たちにできることを発信しよう、

多文化理解(国際理解)

目標 10 人や国家間の平等

2年 どきどきわくわく町探検、
町のひみつを知らせたい
2年 昔の暮らしたんけんたい、
4年 さがそう深川未来遺産
6年 江戸・深川の町を巡ろう

※ 人であれ国家であれ、平等なつきあいを進めるためには、相互理解が基礎となる。
多様な文化理解が異文化への寛容や、平等な人間関係の基礎である、

目標 17 世界の協力とパートナーシップ

2年 あしたへジャンプ、
4年 留学生との楽しい時間
6年 世界を知り、できることを発信しよう
全校体制で取り組む、国内外への発信や交流

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

《SDGs》